

4月27日：大型株が上昇し、VN指数は反発

国内外の資金が再び大型株に集まり、ホーチミン市場のVN指数は反発した。一方でハノイ市場のHNX指数は続落した。

VN指数は朝方わずかに下げたが、0.33% (3.98ポイント) 高の1,219.75ポイントで取引を終えた。

しかし騰落数では値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回り、221銘柄が下落、190銘柄が上昇した。

国内勢は約15兆5,000億ドン (約6億1,820万株) を買い入れ、出来高は高水準を維持した。

「VN指数は今後1,200ポイント付近の下値支持線を試すが、再び値を戻す展開になるだろう」 (バオベト証券の顧客向けデイリーレポート)

「長期休暇が近づくとつれ利益確定売りの増加、それと同じく投資ファンドのポートフォリオの再構築は、今週残りの取引に影響を与える要因だ」 (同証券会社)

同指数の回復は大型株の上昇によるものである。VN30指数は0.69%高の1,283.81ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、14銘柄が上昇、13銘柄が下落した。

銀行、素材、不動産セクターの大型株は反発し、特に不動産セクターが上昇をけん引した。

結果としてノバランド不動産投資グループ (NVL) は最も上昇し、6.21%高となった。

それに続き、ホアファットグループ (HPG) +2.18%、マッサングループ (MSN) +3.16%、ビングループ (VIC) +0.46%とそれぞれ上昇した。

アジアコマーシャル銀行 (ACB)、サコムバンク (STB)、HDバンク (HDB) もそれぞれ1%を超える上昇となった。

対してペトロリメックス (PLX)、ビンコムリテール (VRE)、ベトナムゴム工業グループ (VRG) は売られ、マーケット上昇の重しとなった。それぞれ1%を超える下げとなった。

その一方でハノイ市場では HNX 指数が 0.04%安の 280.56 ポイント、HNX30 指数も 0.03%安となった。

売買高は約 1 億 240 万株で、売買代金は 1 兆 7,000 億ドンを超えた。

外国人投資家は大きく買い戻し、ホーチミン市場では 4,067 億 6,000 万ドンを買い入れた。ハノイ市場では 68 億 7,000 万ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。